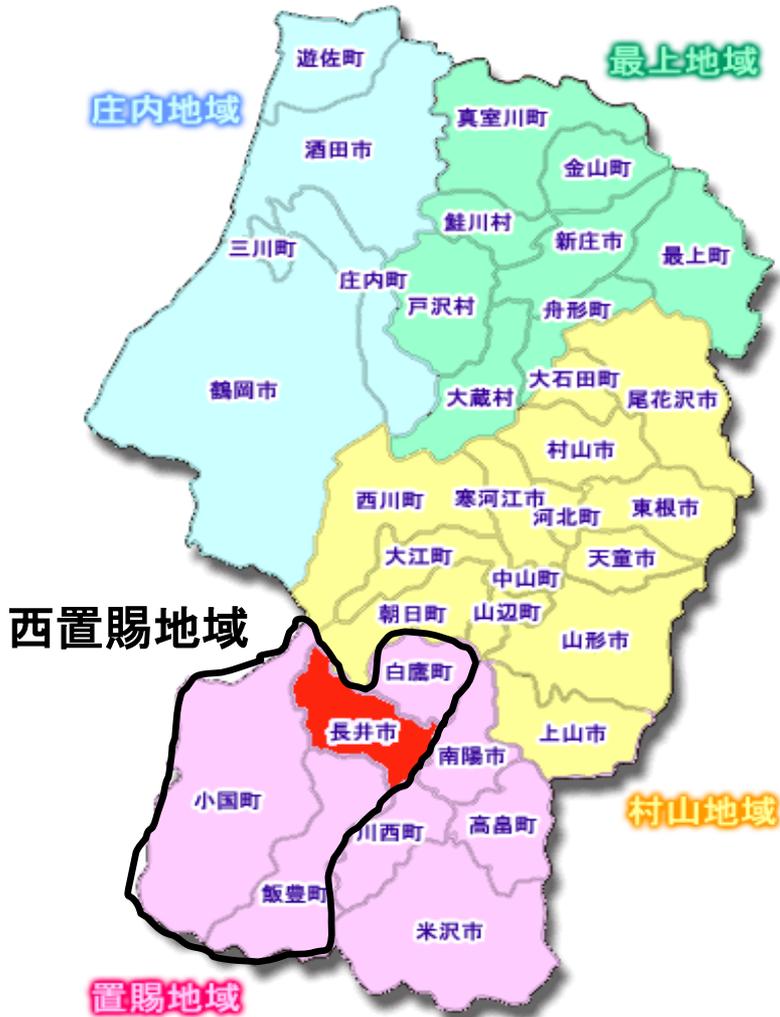


1市3町と医師会で 在宅医療・介護連携推進事業の 取組み

山形県長井市地域包括支援センター
専門員 布施 京子

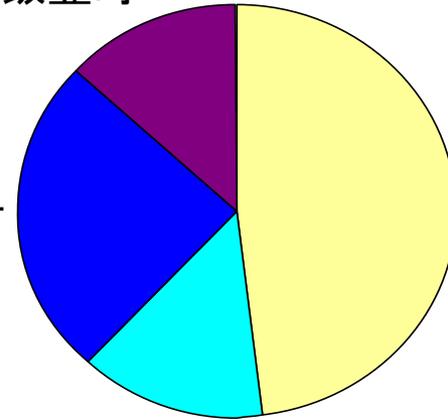
西置賜の人口 56.900人



飯豊町

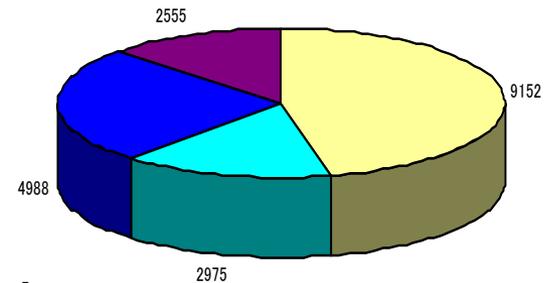
白鷹町

長井市



高齡者人口 19.670人

小国町



高齡化率 34.6

単身高齡者世帯 2.381世帯
 高齡者夫婦世帯 2.281世帯
 (人口比12.2%)

医療資源の概況

サテライト病院 110床 二次医療
(一般病床26、地域ケア病床24、精神科60床)
町立病院(2) 一般病床125床

精神科病院 200床
(精神科15、内科・療養型50)

開業医・診療所32か所

隣接市町

基幹病院 三次医療

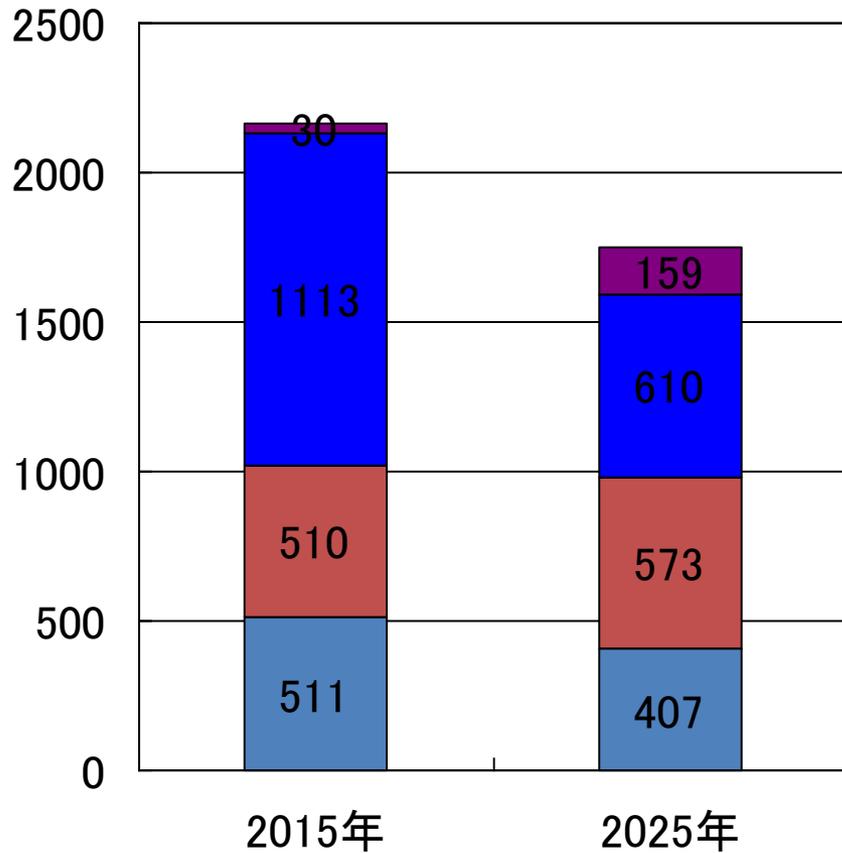
認知症疾患医療センター 置賜地域に1箇所
(※医師会会員 46名)

介護保険サービス基礎情報

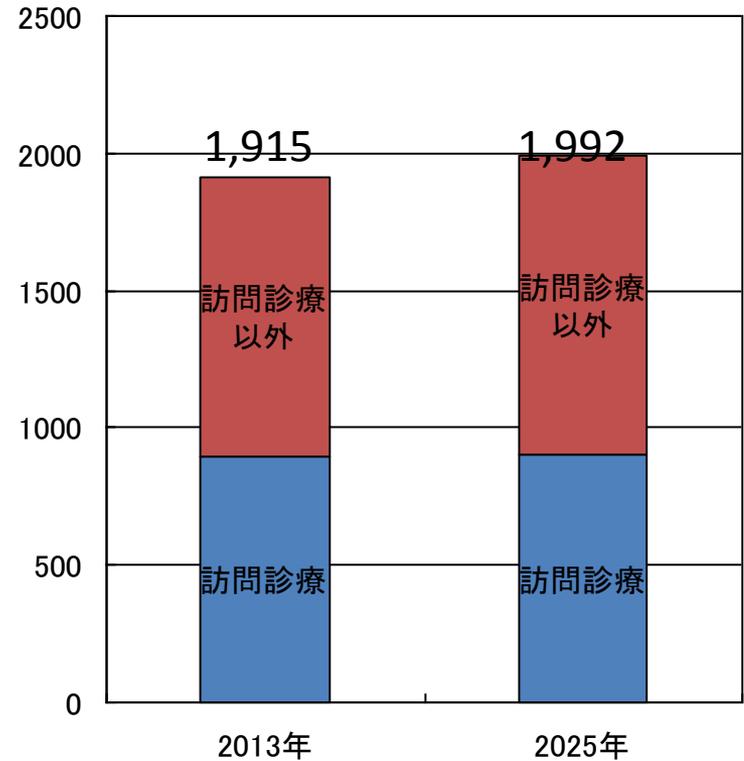
- 介護老人福祉施設 6カ所
- 介護老人保健施設 4カ所
- 介護療養型医療施設 1カ所
- 地域密着型小規模特養 2カ所
- 認知症対応型共同生活介護 8カ所
- 認知症対応型通所介護 3カ所
- 小規模多機能居宅介護 3カ所
- 居宅介護支援事業所 10カ所
- 訪問看護事業所 4カ所
- 訪問介護事業所 13カ所
- 訪問入浴事業所 1カ所
- 訪問リハ 3カ所 通所リハ 4カ所
- 通所介護事業所 13カ所 地域密着型通所介護事業所 6カ所
- 短期入所事業所(生活・療養) 10カ所
- 特定施設生活介護施設 3カ所
- 軽費老人ホーム(ケアハウス) 2カ所(20床)・養護老人ホーム 1カ所
- 有料老人ホーム 7カ所

地域医療構想の概要

置賜地域病床の必要量



在宅医療等の需要



■ 慢性期 ■ 回復期 ■ 急性期 ■ 高度急性期

主な現状と課題

○施設の老朽化により建て替え時期が迫っている病院が多いことから地域に必要な診療機能の重点化と病床機能間の連携が必要。

○医療機関と介護サービスを結ぶ窓口が必要。

○被稼働病床や稼働率の低い病床、在宅療養が可能な患者の入院がある。

○訪問看護や看取り等在宅医療に対する理解が不足している。

○少ない医療資源の中で訪問看護の充実を図る。

○自宅以外でも医療・介護が受けられる環境整備・生活支援サービスの充実が必要。

○医療・介護従事者、住民への在宅医療の普及啓発が必要。

○市町村等の取組みによる広域の在宅医療介護連携体制が必要。

在宅医療・介護連携拠点設置検討の経過

第1回担当者検討会 6月28日

○参加市町 長井市 小国町 白鷹町 飯豊町

○検討内容

- ・各市町の在宅医療・介護連携推進事業の進捗状況
- ・地域在宅医療連携推進支援事業について
- ・西置賜地区としての取組の推進について

第2回担当者検討会 9月16日

○参加市町 長井市 小国町 白鷹町 飯豊町

○検討内容

(1)在宅医療・介護連携拠点、コーディネーターの共同設置について

(2)医師会への委託業務の内容について

- ・医療機関間の連携に関する相談支援
- ・多職種間の連携に関する相談支援
- ・地域住民に対する退院支援、医療・介護サービスの紹介などの相談支援
- ・相談支援に関連する医療・介護資源の把握・周知活動など

第3回担当者会議 10月4日

○参加者 医師会長 医師会副会長2名 医師会理事2名 医師会事務長 長井市 小国町 白鷹町 飯豊町

○検討内容

- ・経過説明
- ・連携拠点(相談窓口)の設置説明
- ・山形県地域在宅医療連携推進支援事業費補助金について
- ・ICTの導入について医師会で検討

長井市西置賜郡医師会理事会 11月21日

・西置賜管内各自治体が依頼する連携拠点(相談窓口)設置について決定

第4回担当者会議 12月26日

○参加市町 長井市 小国町 白鷹町 飯豊町

○検討内容

- ・経過説明
- ・平成28年度医療・介護連携拠点(相談窓口)設置場所、人員配置について
- ・平成29年度事業委託について
- ・平成29年度連携拠点設置にかかる経費の分担について

成り立ち

長井市

小国町

白鷹町

飯豊町

(在宅医療・介護連携推進事業委託)

**一般社団法人 長井市西置賜郡医師会
地域在宅医療連携推進室**

長井市訪問看護ステーション

長井市地域包括支援センター

(公立置賜長井病院内)

経 過

平成29年1月に長井市西置賜郡医師会が地域の医療と介護の連携拠点を公立置賜長井病院の中に設置。

平成29年4月、長井市西置賜郡の1市3町から在宅医療・介護連携推進事業を受託、事業を開始する。

地域在宅医療連携推進室の体制

- 地域在宅医療連携推進室長 桑島 一郎
(長井市西置賜郡医師会長)
- 地域在宅医療連携主任 遠藤 吉雄(事務担当者)
- 地域在宅医療連携推進員 加藤 敏子(看護師・社会福祉士・介護支援専門員)
- 事務長 金子 博(医師会事務長)

※連携室常駐は1名

在宅医療・連携推進事業計画

1. 地域の医療機関、介護事業者等の情報収集及び活用
地域の医療・介護資源の量的・質的情報を収集し、活動医療機関・介護事業者の相互連携に関する問題点の把握
2. 多職種連携の課題に対する解決策の抽出等
関連機関、市町(多職種)が参加する協議会等を開催し、地域の在宅医療・介護連携推進に必要な対策やその実施方法等を検討していく
3. 在宅医療・介護が常時一体的に提供される体制の構築推進
在宅医療従事者の負担軽減の支援や効率的な医療提供のための多職種連携の推進
4. 地域医療・介護関係者間の情報共有の支援
チーム医療を提供するため「在宅医療多職種連携システム」の活用
5. 在宅医療・介護連携に関する相談窓口の運営
公立置賜長井病院内2階に「地域在宅医療連携推進室」を設置し、専従スタッフを配置し相談窓口を開設、他相談機関との連携を図る
6. 地域の医療・介護関係者の研修の実施
1市3町の多職種の研修会・事例検討会の実施、意見交換等の場の設定
7. 地域住民への在宅医療・介護の普及啓発
連携だより・パンフレット等の発行

現在までの活動状況

①相談窓口の運営

公立置賜長井病院内に設置

相談員配置 1名(看護師・社会福祉士)

事務員 1名(病院経験者)

※常時1名を配置

②医療機関、介護事業所等の訪問・情報収集

西置賜(1市3町)の医療機関、介護事業所、施設を訪問し、事業所の状況把握と連携に関する問題の聞き取りを実施中。

③研修会の開催

②の聞き取りから、在宅医療への理解不足の問題を把握、在宅医療についての研修会を予定。

④多職種交流会

顔の見える関係づくりを推進、研修会の後多職種の交流会を企画。

⑤ICT活用説明会

平成29年度からICT導入、訪問看護を中心とした医療職介護職の情報共有を推進。関係機関に出前説明会を実施。